

令和8年度 病虫害発生予察注意報 第6号

1. 病虫害名 : 果樹のカメムシ類(主にツヤアオカメムシ)
2. 対象作物 : カンキツ、カキ、キウイフルーツ、ナシ、オリーブ等
3. 発生が予想される地域 : **県内全域、特に山林隣接園**
4. 発生程度 : **多**

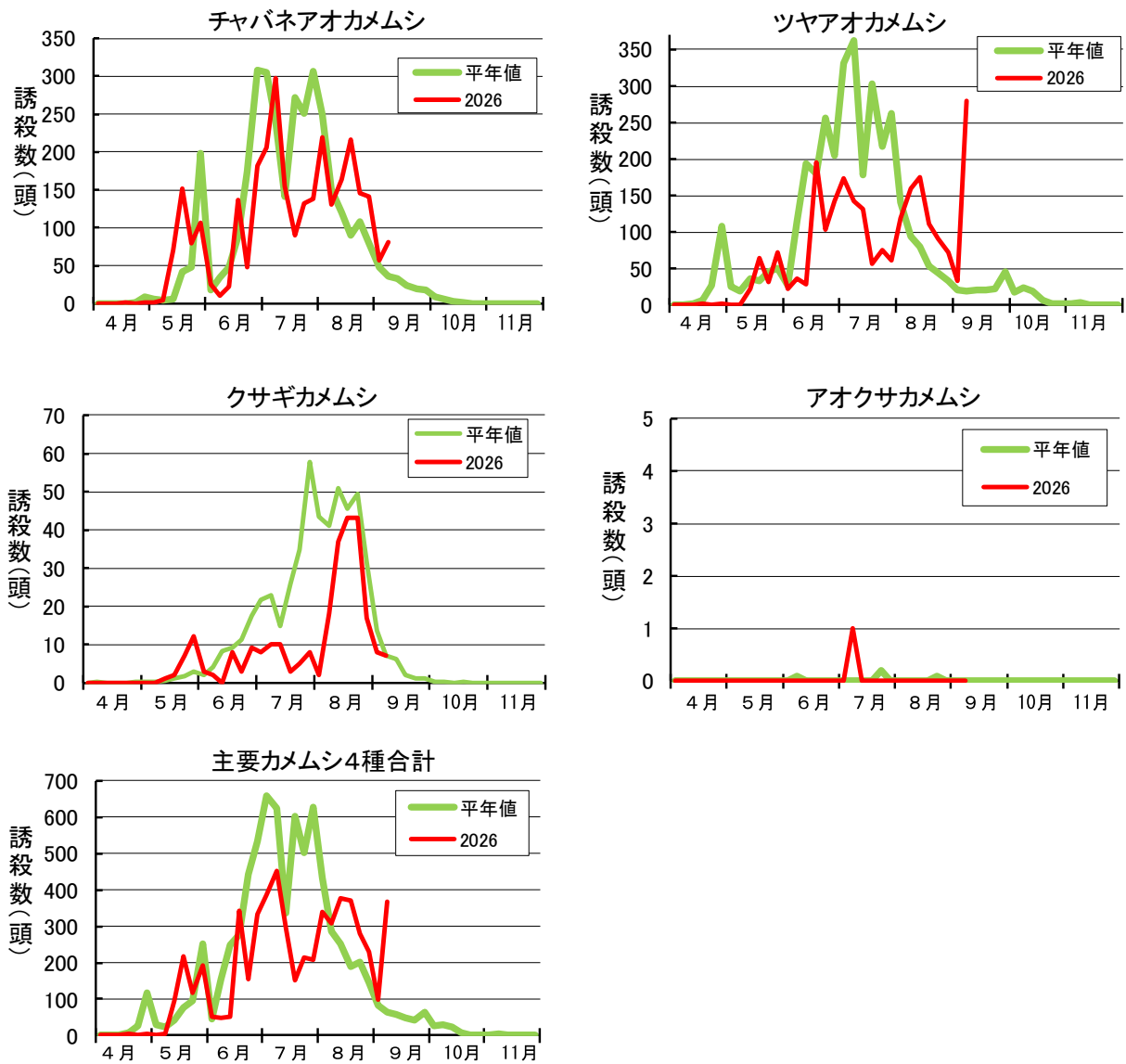
5. 注意報発表の根拠

- 1) 府中果樹研究所(坂出市府中町)の予察灯における9月第2半旬の果樹を加害する主要4種のカメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ、アオクサカメムシ:第1図)の誘殺数は平年の5.8倍(本年:368頭、平年:63.5頭)と多かった(第2図)。特にツヤアオカメムシの誘殺数は平年の14倍(本年:280頭、平年:20.0頭)であった。
- 2) 農業試験場(綾歌郡綾川町)の予察灯においては、主要4種合計の誘殺数は平年並であったが、9月第2半旬のツヤアオカメムシの誘殺数は平年の12.9倍(本年:94頭、平年:7.3頭)と多かった(第3図)。
- 3) 今後、活動が活発になり、県内主要果樹であるカンキツ、カキ、キウイフルーツ、ナシ、オリーブ等で被害の多発生が懸念される。

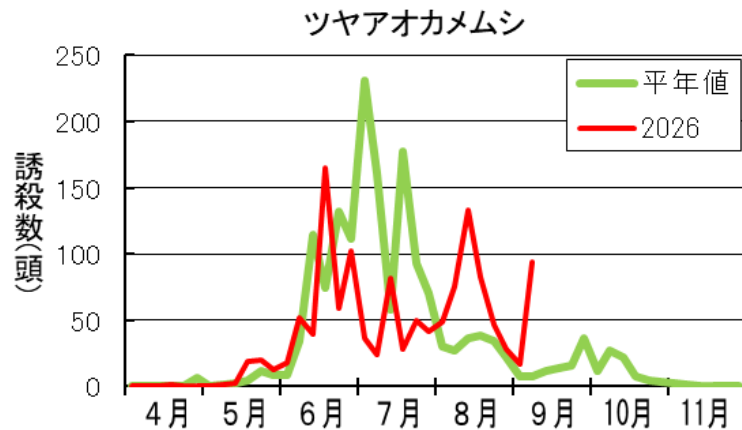


第1図 果樹を加害するカメムシ類
(左からチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)

カメムシ類半月別誘殺数(県予察圃場予察灯、坂出市・府中果樹研究所)



第2図 府中果樹研究所の予察灯における主要4種の果樹カメムシ類の誘殺状況



第3図 農業試験場の予察灯におけるツヤアオカメムシの誘殺状況

6. 防除実施上の留意点

- 1) カンキツ類は、着色前の果実でも吸汁されると果実内部が褐変し、落果するため注意する。
- 2) 施設栽培の場合は、開放口をネット（4mm目合い）で覆うとカメムシ類の侵入防止対策となる。
- 3) 圃場内をよく観察し、被害果実やカメムシ類の発生が見られる場合は、早急に防除を実施する。特にスギ、ヒノキ等が周辺に多い圃場や、過去に被害が認められた圃場では注意する。
- 4) 多発してからの防除は効果が劣る場合があるので、発生初期の防除を徹底する。
- 5) 成虫は夕方に飛来し夜間加害するので、薬剤散布は夕方に広域かつ一斉に行うと効果的である。
- 6) 黄色蛍光灯は、チャバネアオカメムシには忌避効果があるが、ほかのカメムシ類には効果がないので注意する。
- 7) 防除薬剤は、主要農作物病害虫雑草防除指針、香川県監修の果樹病害虫防除暦を参考にする。



香川県主要農作物病害虫・雑草防除指針

https://www.pref.kagawa.lg.jp/byogaichubojyo/byogaichu/sisin/byougaityuu_sisin.html

・住宅地等に接した地域及び広範囲に防除する場合は、散布する前に付近住民などに周知するとともに、飛散しにくい農薬を使用するようにしましょう。
・農薬散布は、無風又は風が弱いときに行うなど、近隣に影響が少ない天候の日や時間帯を選び、風向き、ノズルの向き等に注意して飛散防止を心がけましょう。

農薬はラベルをよく読んで使用しましょう

病害虫防除所 インターネットホームページ

URL: <https://www.pref.kagawa.lg.jp/byogaichubojyo/index.html>

